

奈良女子大学
古代学学術研究センター

平成 24 年度

第 5 回月例研究会

日時：2012 年 10 月 3 日（水）16：30～

場所：生活環境学部会議室（生環 A 棟 1 階）

内容：病が語る生活史

～江戸時代の労瘵（結核）をめぐって～

鈴木 則子（生活環境学部 准教授）

労瘵（結核）は、梅毒と並ぶ江戸時代の代表的感染症である。江戸時代の人びとは、労瘵の伝染性を認識しつつも、これをストレス性疾患と捉えたり、性欲や性行為に起因する病とみなしたりもした。なぜそのような病気観が生まれたのか。

本報告は、医学書や文学史料のなかの労瘵に関する記述を分析し、病を通して江戸時代の生活史を叙述することを試みる。

ご自由にご参加下さい